

令和5年12月25日(月)

令和5年12月期 学長記者懇談会

大学連携型ソーシャル・イノベーション 人材養成事業について

地域共創研究科長 本村 真



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

本事業の概要

- ・ 代表校 龍谷大学、連携校 琉球大学及び京都文教大学は、本事業について文部科学省 令和5年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」に申請を行い、採択を受けた（全国で5事業の採択）
- ・ 昨年度設置したばかりの大学院である地域共創研究科において、文系学問の教育をさらに社会的ニーズに即したものにしていくために、新たな教育内容の開発に着手する意義を有する
- ・ 事業としては今年度から6年かけて教育開発を行うが、カリキュラムの提供・受講生の受け入れは、2025年度より開始する予定

本事業内容のポイント① ソーシャル・イノベーション人材の養成

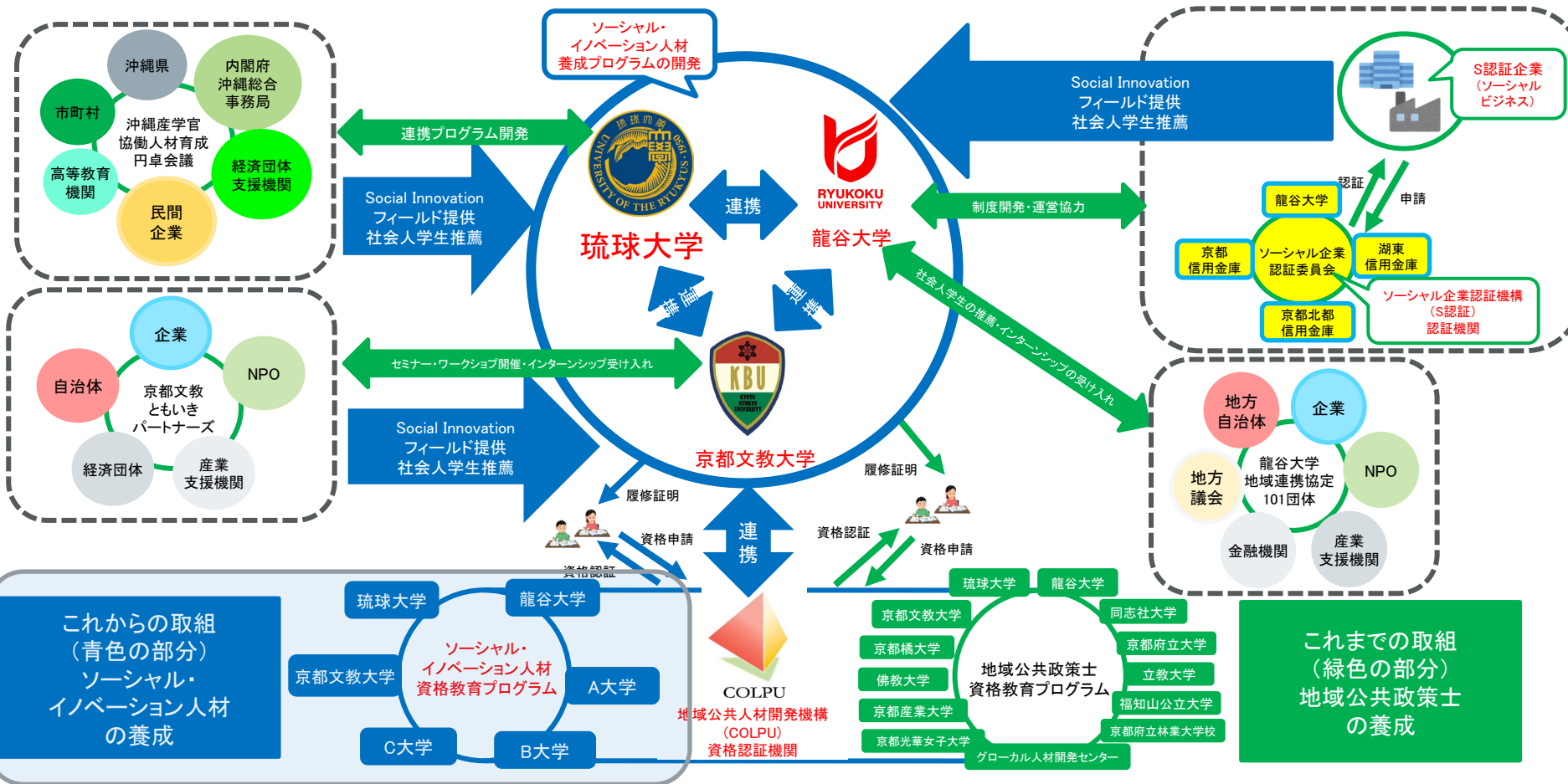
1. 教育プログラムの開発

- ・ ソーシャル・イノベーションに必要な「社会課題の原因を多面的視点から見抜く力」、「多様な領域の知見を組合せて付加価値を生む力」を育む教育プログラムを開発
- ・ 人文・社会科学系の多様な領域の理論や分析法等を履修した後に、実社会の課題を取上げて多角的な視点からのイノベーションによって解決策を検討するPBL型の教育を開発する

2. 認証制度の開発

- ・ 学位授与のみならず第三者による能力認証(質保証)の仕組みを確立する。
(一財)地域公共人材開発機構と連携し、「地域公共人材」の資格認証プログラム運用の知見を活かし、「ソーシャル・イノベーション人材」の認証制度を開発する

※ソーシャル・イノベーション人材の養成に向けた連携



地域公共政策士とソーシャル・イノベーション人材の違いとは

◎ 地域公共政策士とは

- 地域公共活動を主導する人材：産官学民の各セクターの壁を乗り越えて協働の役割を担い、公共的活動を主導する人材

→本学でも「初級地域公共政策士」に加えて、大学院レベルの資格である「**地域公共政策士**」資格カリキュラムの提供を、地域共創研究科にて2022年度より開始。

さらに、関連するプログラムとして「**地域公共論講座**」を、主に学外の社会人を対象として**来年度(2024年度)**から提供開始予定。

◎ ソーシャル・イノベーション人材とは

- 社会課題解決に貢献する人材養成という点は同じであるが、その中でも、民間セクターにおける活躍をより強く想定したもの。

→社会課題の解決にむけて当該課題の中からポテンシャルを見抜き、当該ポテンシャルと多様な知見を融合させて新たな価値を創造することができる人材

本事業内容のポイント② 3つの大学院連携による教育の開発・提供

1. 多様な知見の融合

- ・ 3大学院の融合によって、人文・社会科学系の**多くの研究領域をカバー**できる

2. 多種多様な社会問題

- ・ 3大学院がこれまで培ってきた地域とのネットワークにより、**多くの社会問題**に触れることができる。

3. 多面的なものの見方

- ・ 沖縄も京都も、他地域には見られない独自の文化や伝統がある。学生が、双方共通する課題や異なる課題について取り組むことで、**より視野の広い人材を育成**できる。

4. 知識や知恵を持ち寄り共有できる場

- ・ 様々な知恵や知識を**共有し高め合う場**ができる

3つの大学院連携の効果



琉球大学

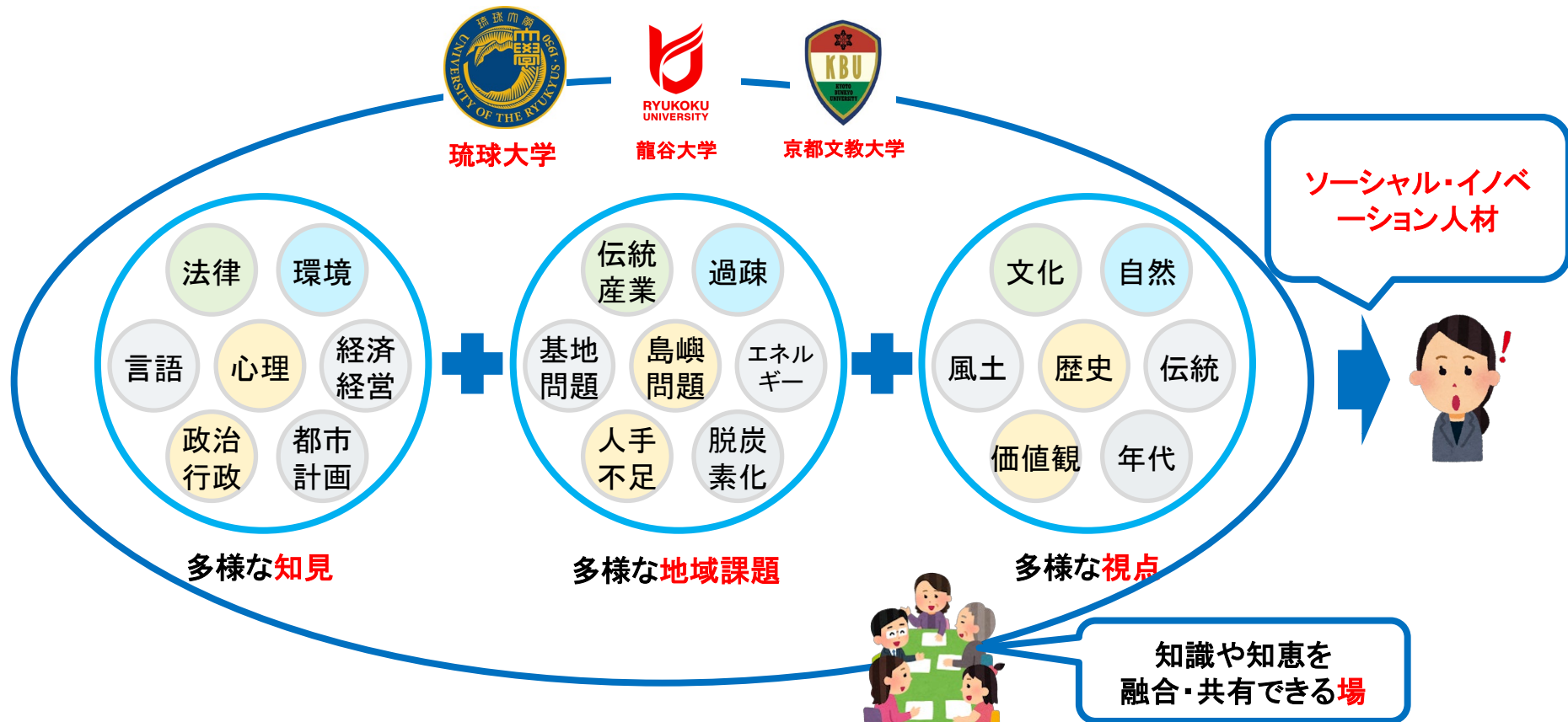


RYUKOKU
UNIVERSITY

龍谷大学



京都文教大学



今後の展開・構想

- ◎ 「ソーシャル・イノベーション人材」教育プログラムを他大学等にも開放し、様々な地域の社会課題をイノベーティブな発想をもとに解決に導ける人材の輩出に貢献する
 - ・ 科目等履修制度等を活用し、様々な地域の人々が本プログラムを履修し、ソーシャル・イノベーション人材としての知識や技能を習得し、各地で複雑化・多様化する社会課題の解決にむけて活躍する人材を増やすことに貢献する

- ◎ ソーシャル・イノベーション人材のキャリア支援
 - ・ 資格認証制度に参加する大学等を増やす等、社会からの認知を高めることを通して、人文・社会科学系大学院生の社会課題の解決能力(ナレッジやスキル等)を証明する制度を普及させ、ソーシャル・イノベーション人材のキャリア支援にもつなげる
 - ・ ソーシャルビジネスに取り組む企業等への人材バンク的な役割を担えるネットワークの構築を検討。

●琉球大学大学院地域共創研究科サイト内「お知らせ」ページ

<https://www.ced.u-ryukyu.ac.jp/news/684/>

●ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム特設サイト(龍谷大学)

<https://www.policy.ryukoku.ac.jp/socialinnovationpro/>

●本事業に関するお問い合わせ先

琉球大学人文社会学部: hbsoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

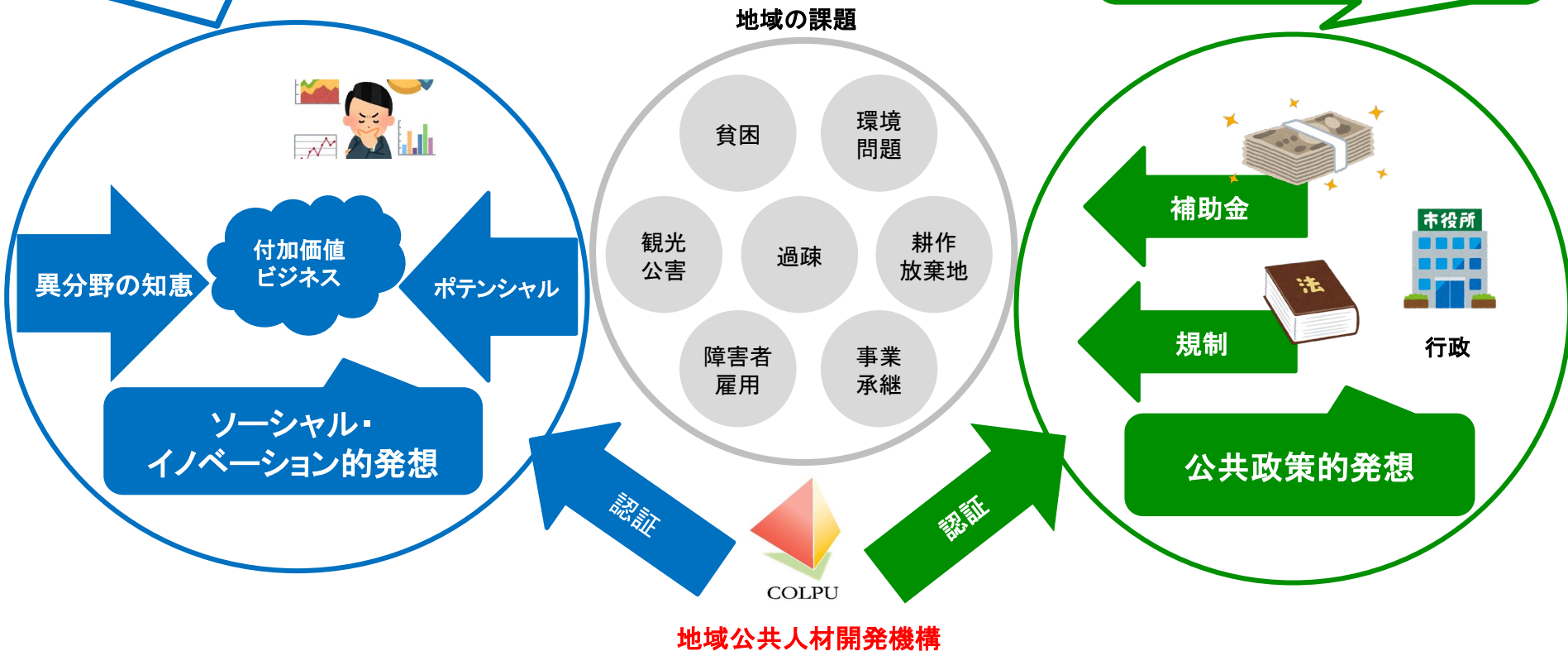


琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

参考資料 ソーシャル・イノベーション人材の必要性

ソーシャル・イノベーション人材
企業や金融機関などの
民間人が主な対象

地域公共政策士
政治や行政、NPOや公的機関の関係者が
主な対象



参考資料 学びの内容について

座学



課題抽出・ポテンシャルの見方・解決方法等について多領域からのアプローチ方法等について学ぶ

ワークショップ フィールドワーク



課題原因やポテンシャルの分析、課題解決にむけたアプローチ法の検討等に関するグループワークやフィールド調査

提案



課題解決にむけた政策やビジネス等を提案

評価



地域課題等の提供者らによる提案内容の評価

参考資料 学びの特色(2つの資格制度)

地域公共政策士とソーシャル・イノベーション人材のキャップストーン(例)

